

豚熱（CSF）防疫措置対応に係るアンケート結果について

農政課

1 概要

豚熱（CSF）の防疫措置に従事した延べ343名の動員職員を対象にアンケート調査を実施（班名記入、氏名無記名）。多くの意見をもとに、見直しや改善を図りたい。

2 主な意見と対応

【全体的な意見】

- ①消毒支援班は証明発行ではなく消毒作業を行った。発生農場防疫支援係では集合場所が異なる等マニュアルとは違う内容や、現場での交通規制等マニュアルにはない作業があった。
→県との役割分担の協議後、マニュアルを整備する。
- ②農政課がシフトに入っていない状況で、他部署へ応援要請を行っているため、不公平さを感じられた。
→本部機能を維持した上で、農政部の職員が可能な限り初動対応する。
- ③シフトと時差出勤対応での勤務体制が合ってなく、対応に苦慮した。
→実情に合わせ、県とシフトを調整し、勤務体系を検討する。
- ④市と県の連携が取れず、動員が解除された後すぐに、再度動員が必要となるなど、遅く、不正確な情報が多々あった。時差出勤対応で備えていたため、結果として、休暇を取らなければならなくなった。
→マニュアルどおり、発生当初から市と県との連絡調整をスムーズに行うため、県職員が市役所に常駐できるよう県に要望する。
- ⑤情報量が少なかった。動員された職員が全庁掲示板に情報を書き込めるようにすると良いと思う。
→オンラインツール等を利用できるよう検討する。

【住民対応班】

- ① 住民説明会では、埋却地に対する臭気や周辺への水質について、県から責任のある回答ができる職員が出席できれば、住民の理解は進む。
→県と協議中。

【防疫支援班現地事務所係】

- ①現地事務所が、宮城体育館に急遽変更となったため、利用許可の取り消し等で混乱が生じた。今後のルール作りをお願いしたい。
→県と協議して、殺処分頭数に応じて現地事務所の場所を調整できるよう対応中。

【防疫支援班発生農場防疫支援係】

- ①機器の扱いに慣れておらず、動噴を使うことができなかった。最低限の注意事項等の周知をお願いしたい。
→機器作業用マニュアル等を作成し、作業に支障が出ないようにする。
- ②業務量が多く、負担が重かったため、各班の人数が適正かを再検討した方が良い。
→動員表を一部見直し、応援職員への負担が重くならないよう配慮する。

【交通規制班】

- ① 特定の部だけの人員で、3交替だったため、通常業務への影響があった。委託で良いのではないか。
→動員表を一部見直し、応援職員への負担が重くならないよう配慮する。なるべく早い段階で委託できるよう県に働きかける。

【消毒支援班】

- ①自家用車で現地に行かなければならず、消毒液や石灰で汚れた。公用車で移動できないか。
→集合場所を決め、そこから公用車で現場へ行けるよう県と調整する。